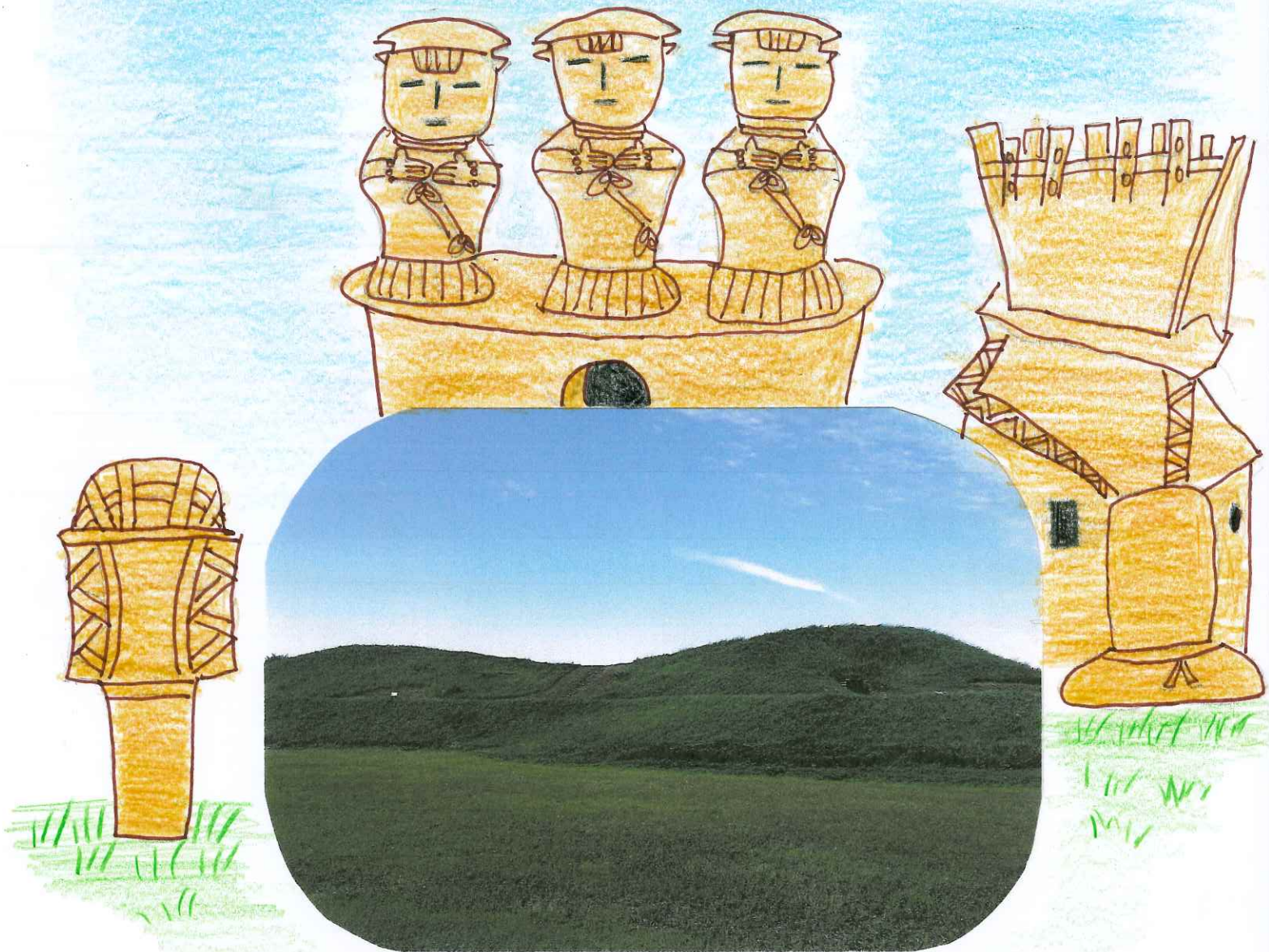


綿貫観音山古墳

～ 人物はにわグループの
なぞ～



城南小学校

3年 荻原 言羽

1 はじめに

古墳時代の群馬に文字はないけれど、
観音山古墳のごうかな副葬品を調べると、
王の大きなけん力が分かる。それから、
古墳にならべられた人物はにわグループの
おき方にも意味があると思うので、考えて
みたい。

2 観音山古墳にねむる王の正体

まずは、5~6世紀の綿貫古墳群について
調べてみた。

・ 高崎市の井野川流いき

普賢寺裏古墳 (5世紀前半)

岩鼻二子山古墳 (5世紀中期)

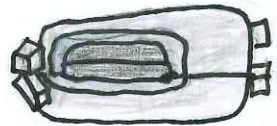
不動山古墳 (")

若宮八幡北古墳 (5世紀末)

観音山古墳 (6世紀後半)

↓
玄室が県内さい大きぽ

5~6世紀の井野川流いきには、
大きなけん力を持つ王の一族が
いた。



舟形石棺

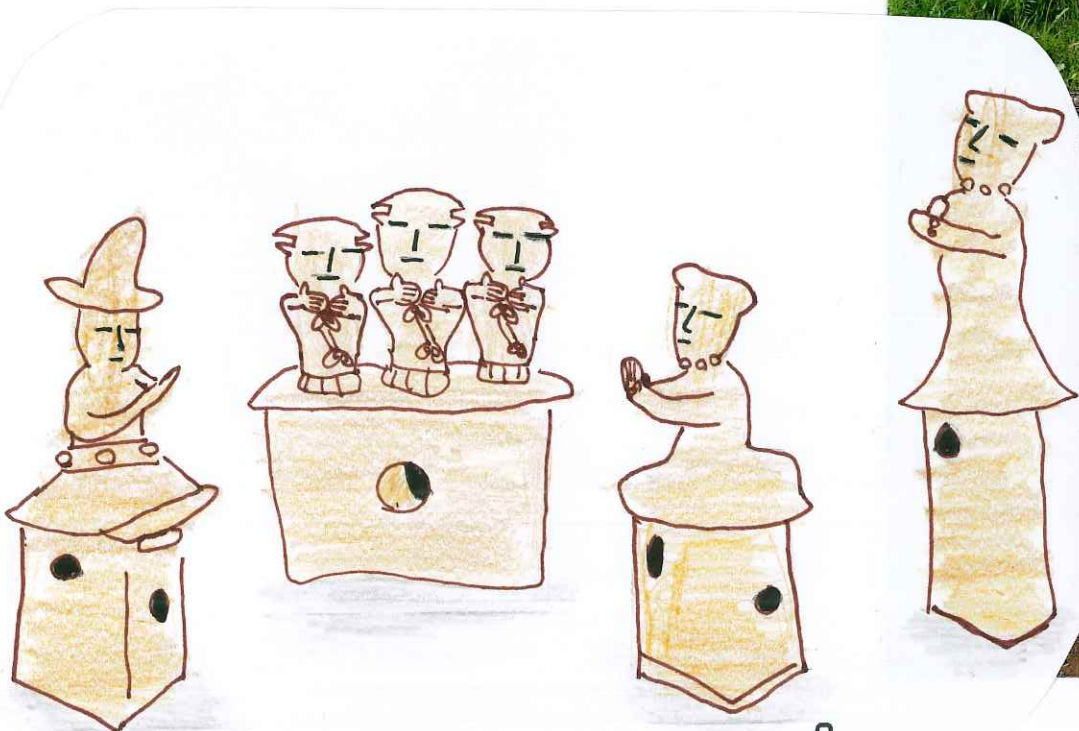
長持形石棺につく
有カごう族の棺

★その中で一番新しい観音山古墳の王の正体は？

- 崇神天皇の皇子「豊城入彦命」を祖とする
- 大陸とも関係が深い
(副葬品のじゅう帯鏡・金銅水びょう・金銅せいの馬具などから)
- 大きなけんか (広い玄室・金銅せい鈴付大帯から)
- 武力にひいてている (副葬品の武具・馬具から)
- ウエスト約90cm (金銅せい鈴付大帯から)
- 40~60代の男せい (歯やほねから)

県れきしはく物館 きかくてん
「綿貫観音山古土費のすべて」から

3 石室近くの人物はにわグループの なぞにせまる!!



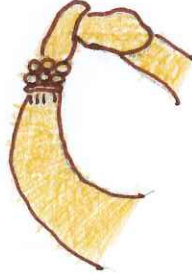
(1) 二人の巫女のはにわのなぞ

① ひざまづく巫女は、王にたいして何をしている？

① 手つき

笏？木簡？

木簡は文字を書くもの。



まだ、文字ない。

笏かな。

||

- 中国で生まれ、6世紀に日本に伝来。
- 6世紀後半の君群馬に入ってきていても、おかしくない。

② 令和の天皇の即位の礼で、天皇は笏を持っていた。

- 天皇の笏... ひだ一宮水無神社がけん上する。平安時代からの伝とうをうけつぐそうだ。(イチイの木)



★ 巫女は、即位のぎ式で、王に笏をささげているのかもしれない。

- 中国のえいきょうもある？

すわっている巫女のふんわりしたスカートは、大陸のえいきょうをただよわせている。(「HANI一本」)

① かわぶくろを ささげ"る 巫女の かわぶくろの中身は？

- 動物の いぶくろ や ぼうこう は、古来
水とうとして使われることもあった。

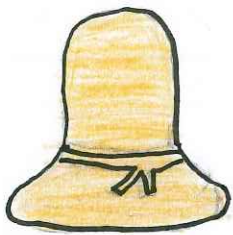


(ウィキペディア)

ぎ式だから、水ではなく、酒を入れた
かわぶくろを持っていたのかもしれない。

(2) ぼうしかたはにわと王のはにわか かぶる ぼうしのなぞ

① ぼうしかたはにわ



- 前方部墳頂のさいしを行う場所から、
家形はにわ・盾形はにわといっしょに
出土した。

家形はにわ = れい云鬼の居所

盾形はにわ = れい云鬼をじゃ悪から
守る、守ごのしょうちょう



(「観音山ガイドブック」)

★ なくなった王は、前方部墳頂での
ぼうしかたはにわを使ったぎ式で、
れい云鬼(神)になったのかもしれない。
(王のれい云鬼は、家形はにわに。
空いたぼうしは、新しい王のものに?)

◎ 人物はにわグループの王も、にたぼうしをかぶっている。



★ 新しい王は、人物はにわグループの中でも ぼうしをかぶり、次の王になったのだと思う。

(3) 人物はにわグループと王のおそう式とは、関係があるのか？

古墳は王の墓なので、なくなるとおそう式をしたと思う。それと人物はにわグループに、関係があるのかどうか、考えてみた。

広瀬和雄さんの「知識ゼロからの古墳入門」に、古代のおそう式について書いてあったので、まとめてみた。

- 土器 … 弥生時代のお墓からも発見。まいそう時に、さん列者が共食共食のぎねしに使う。カミにささげた供物をもる。
- 土師器 … 古墳時代前期に、つぼなどを墳頂部において、そう送ぎねしに使う。そのまま放置、うめられた。

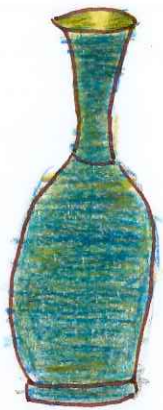
- 須恵器 ... 副そう品にとくべつに作られたり、5世紀末ごろからは、日じょう生活で使われていた容器が石室に副そうされるようになる。土師器とことなり、実さいに供物を入れたこんせきがある。



◎ 古墳時代のそう送ぎ礼?

- 大室古墳群の6世紀しよ頭の
前二子古墳・6世紀後半の後二子古墳では、石室の入口付近で行われたぎ式に使った土器や煮たきしたあとなどが見つけた。

(大室公園大室はにわ食官のパネル)



- 観音山古墳では、石室の入口近くに須恵器。王の頭の方に、銅水びょう・土師器・須恵器がおいてある。
- 観音山古墳の後円部墳頂からは、須恵器が出土している。



土器は、そう送ぎ礼で使われていたと思う。

★ 即位のアイテム = ぼうし
おそう式のアイテム = 土器

★ おそう式で使う土器が、人物はにわグループとは別のところから出土しているので、人物はにわは、王のおそう式とは関係なく、ならべられていると思う。

(4) 王のはにわとふり分けがみの男のはにわが金銅せい鈴付大帯をしているなぞ

★ 石室の中から、本物の金銅せい鈴付大帯が見つかったので、二人のはにわが、なくなつた王の後継者であることを表していると思う。

4 まとめ

～人物はにわグループが表す、ぎ式の意味～

★ 「合しようする男」「王にたいして笏をささげ持つ巫女」「酒の入ったふくろを持つ巫女」「音楽をかなでる三人童女」の人物はにわグループは、新しい王が即位するぎ式を表していると思う。

★ 綿貫観音山古墳の人物はにわグループは、なくなった王・新しい王・その次の王の三代が守っているこの「くに」が、心はいなく安心してくらせるところだと、民にたいしてアピールしていると思う。

5 おわりに

記ろくがないことのなぞをとくのは、おもしろかったけれど、こわかった。ゆめに観音山古墳の王が出てきて、いろいろ教えてくれないかなあ、と思った。



いつもおうえん
してくれたはにわ

参考文献

- 「綿貫観音山古墳ガイドブック」
- 広瀬和雄「知識ゼロからの古墳入門」
- 「HANI一本」

行った場所

- 綿貫観音山古墳
- 県れきはく物館きかてん「綿貫観音山古墳のすべて」・ じょうせってん
- 保渡田八幡塚古墳
- かみつけの里はく物館